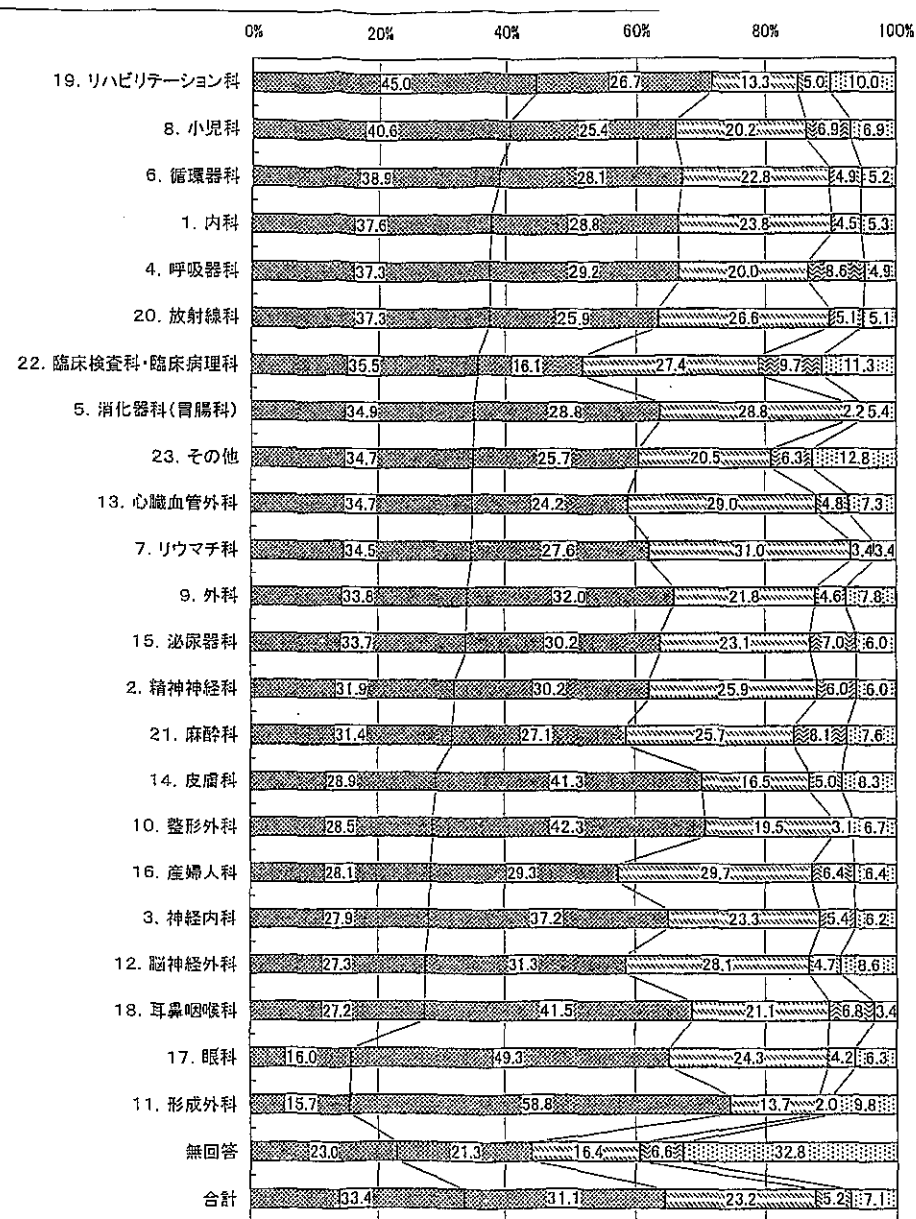


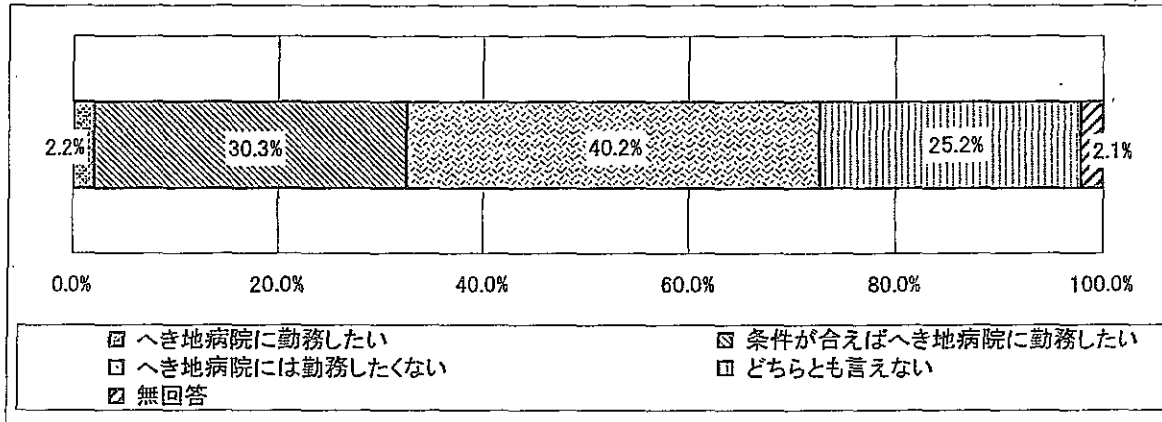
Q11*Q25(人)	Q25: 今後の大学医学部・医局のあり方についてどう思われますか					
現在の主たる診療科目又は就業内容は何ですか	卒後臨床研修 (%)	今まで通りに (%)	学生教育・研究 (%)	その他	無回答	合計
19. リハビリテーション科	27 (45.0)	16 (26.7)	8 (13.3)	3	6	60
8. 小児科	147 (40.6)	92 (25.4)	73 (20.2)	25	25	362
6. 循環器科	126 (38.9)	91 (28.1)	74 (22.8)	16	17	324
1. 内科	326 (37.6)	250 (28.8)	206 (23.8)	39	46	867
4. 呼吸器科	69 (37.3)	54 (29.2)	37 (20.0)	16	9	185
20. 放射線科	59 (37.3)	41 (25.9)	42 (26.6)	8	8	158
22. 臨床検査科・臨床病理科	22 (35.5)	10 (16.1)	17 (27.4)	6	7	62
5. 消化器科(胃腸科)	97 (34.9)	80 (28.8)	80 (28.8)	6	15	278
23. その他	100 (34.7)	74 (25.7)	59 (20.5)	18	37	288
13. 心血管外科	43 (34.7)	30 (24.2)	36 (29.0)	6	9	124
7. リウマチ科	10 (34.5)	8 (27.6)	9 (31.0)	1	1	29
9. 外科	279 (33.8)	264 (32.0)	180 (21.8)	38	64	825
15. 泌尿器科	67 (33.7)	50 (30.2)	46 (23.1)	14	12	199
2. 精神神経科	37 (31.9)	35 (30.2)	30 (25.9)	7	7	116
21. 麻酔科	66 (31.4)	57 (27.1)	54 (25.7)	17	16	210
14. 皮膚科	35 (28.9)	50 (41.3)	20 (16.5)	6	10	121
10. 整形外科	111 (28.5)	165 (42.3)	76 (19.5)	12	26	390
16. 産婦人科	70 (28.1)	73 (29.3)	74 (29.7)	16	16	249
3. 神経内科	36 (27.9)	48 (37.2)	30 (23.3)	7	8	129
12. 脳神経外科	70 (27.3)	80 (31.3)	72 (28.1)	12	22	256
18. 耳鼻咽喉科	40 (27.2)	61 (41.5)	31 (21.1)	10	5	147
17. 眼科	23 (16.0)	71 (49.3)	35 (24.3)	6	9	144
11. 形成外科	8 (15.7)	30 (58.8)	7 (13.7)	1	5	51
無回答	14 (23.0)	13 (21.3)	10 (16.4)	4	20	61
合計	1,882 (33.4)	1,753 (31.1)	1,306 (23.2)	294	400	5635



卒後臨床研修は市中病院で行い、将来専門的臨床及び研究を志す者を大学での後期研修として受け入れる
 今まで通りに関連病院への医師派遣機能をもつ
 学生教育、研究、大学での臨床に限定する
 その他
 無回答

Q26 あなたはへき地病院に（今後も）勤務したいですか。

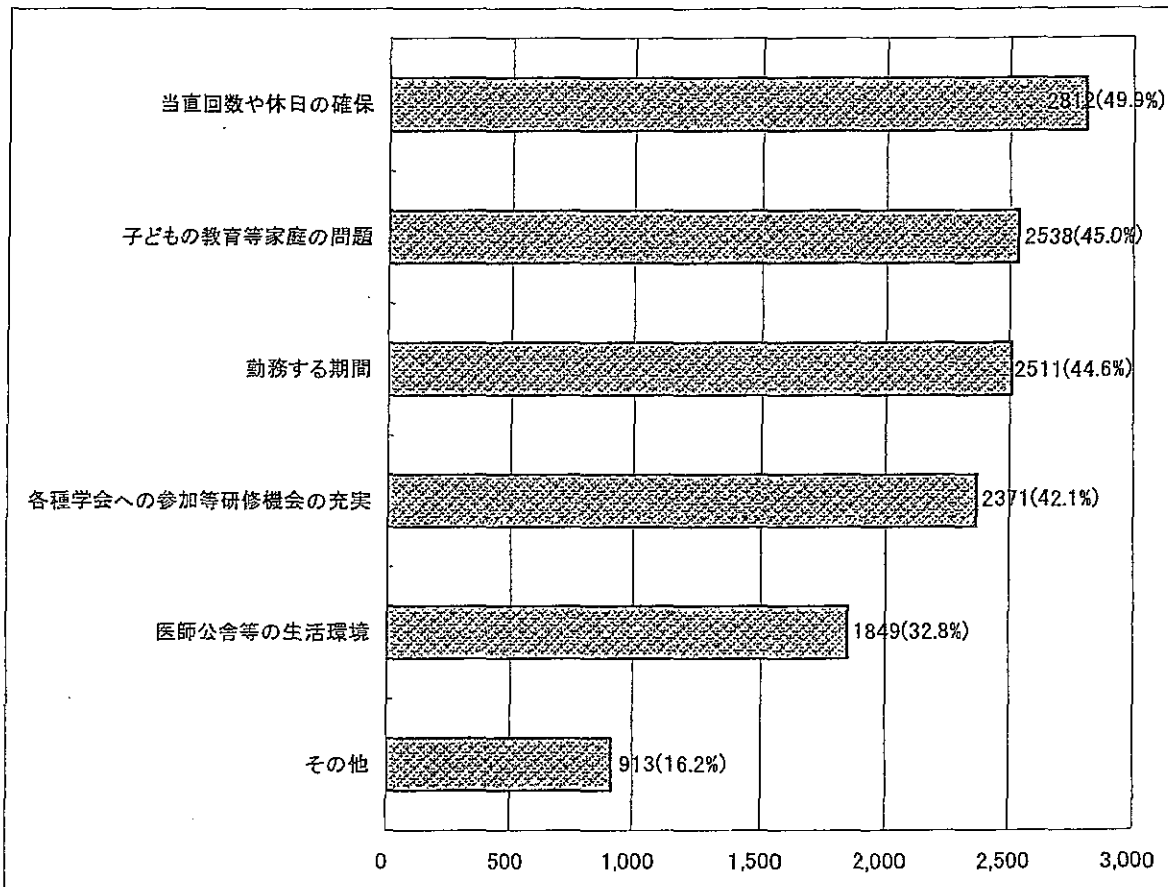
	回答数(%)
へき地病院に勤務したい	122(2.2)
条件が合えばへき地病院に勤務したい	1,706(30.3)
へき地病院には勤務したくない	2,266(40.2)
どちらとも言えない	1421(25.2)
小計	5,515(97.9)
無回答	120(2.1)
計	5,635(100.0)



へき地病院への勤務は、「したくない」が40.2%だが、「勤務したい」と、「条件が合えば勤務したい」とを合わせると32.5%であった。

Q27 主にどのような条件が合えばへき地病院に勤務したいですか。(複数回答可)

	回答数(%)
当直回数や休日の確保	2,812(49.9)
子どもの教育等家庭の問題	2,538(45.0)
勤務する期間	2,511(44.6)
各種学会への参加等研修機会の充実	2,371(42.1)
医師公舎等の生活環境	1,849(32.8)
その他	913(16.2)



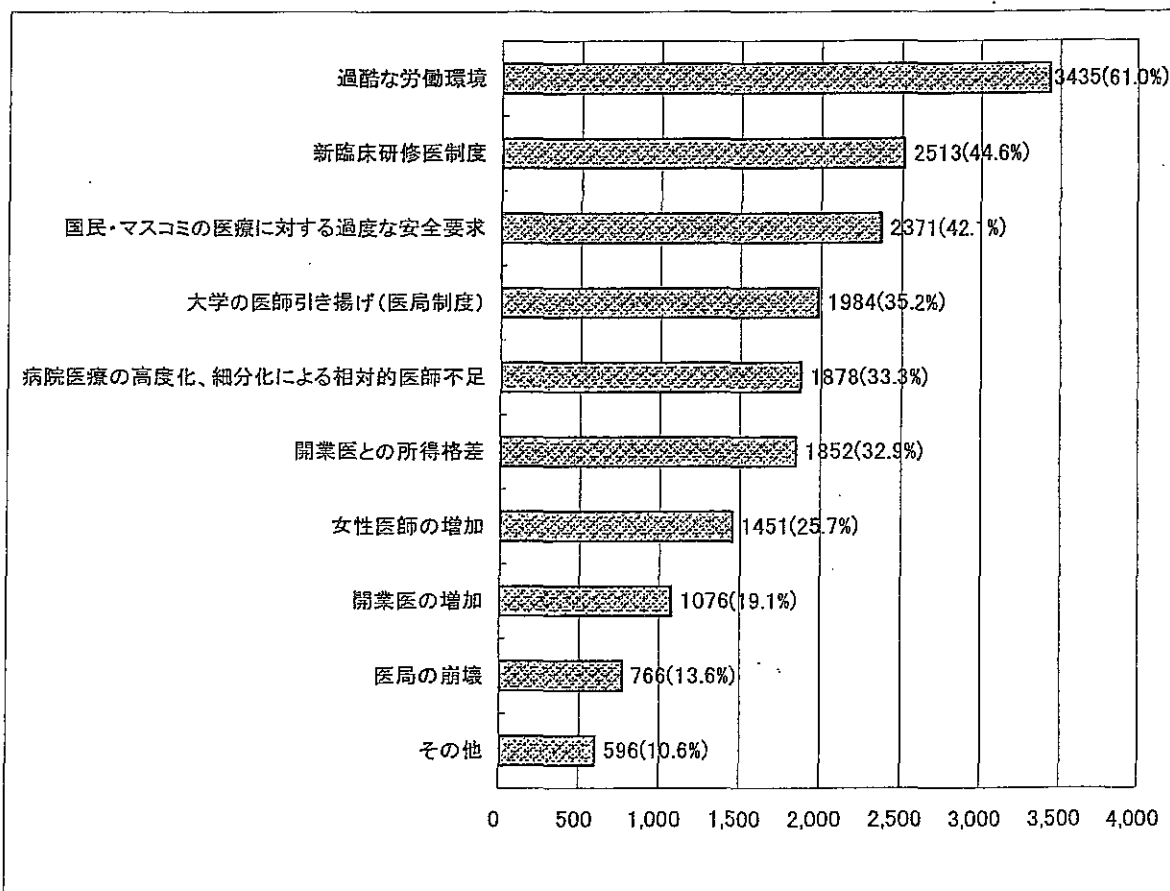
へき地病院の勤務条件は、「当直回数や休日の確保」を挙げているのが49.9%、次いで「子どもの教育等家庭の問題」が45.0%、「勤務する期間」が44.6%、「各種学会への参加等研修機会の充実」が42.1%であった。早急にへき地病院の受け入れ環境の整備が必要である。

今後の医師養成システム、及び医療提供体制システムを考える上で多大の示唆を示すものである。

Q28 勤務医不足の要因について

①その原因（特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください）

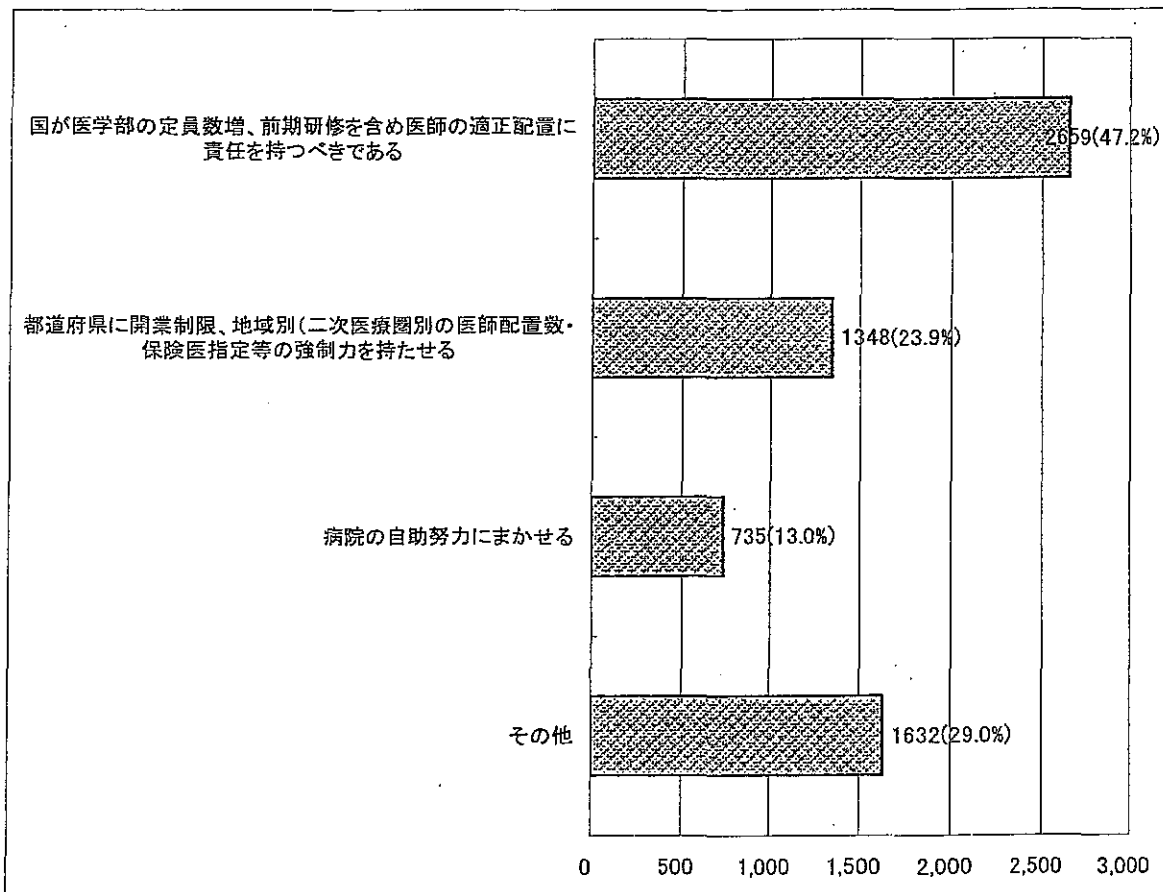
	回答数	回答率
過酷な労働環境	3,435	61.0%
新臨床研修医制度	2,513	44.6%
国民・マスコミの医療に対する過度な安全要求	2,371	42.1%
大学の医師引き揚げ(医局制度)	1,984	35.2%
病院医療の高度化、細分化による相対的医師不足	1,878	33.3%
開業医との所得格差	1,852	32.9%
女性医師の増加	1,451	25.7%
開業医の増加	1,076	19.1%
医局の崩壊	766	13.6%
その他	596	10.6%



勤務医不足の要因は、「過酷な労働環境」を挙げているのが61.0%と最も多く、次いで「新臨床研修医制度」が44.6%、「国民・マスコミの医療に対する過度な安全要求」が42.1%であった。これの要因が解消されないと、ますます勤務医は病院を離れて開業し勤務医不足の悪循環に陥ることが伺われる。

②その対策（複数回答可）

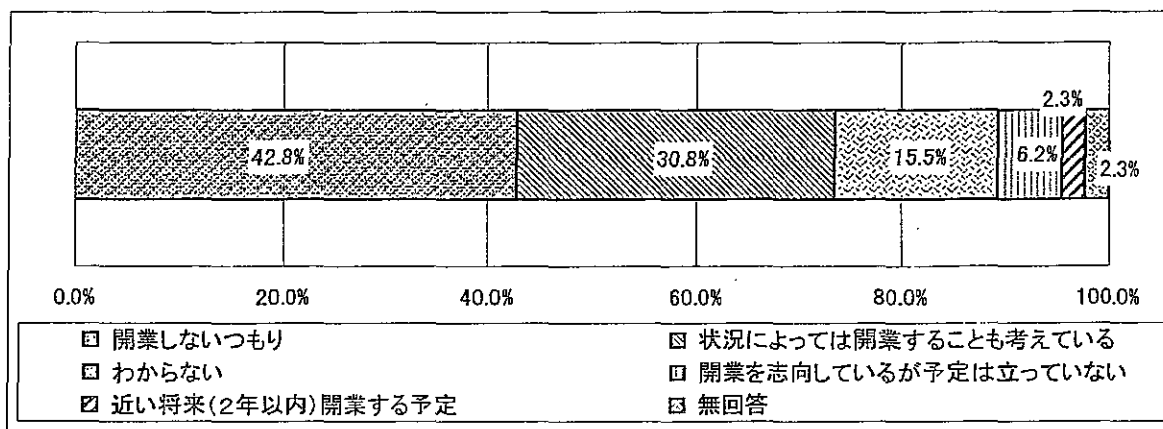
	回答数	回答率
国が医学部の定員数増、前期研修を含め医師の適正配置に責任を持つべきである	2,659	47.2%
都道府県に開業制限、地域別（二次医療圏別の医師配置数・保険医指定等の強制力を持たせる	1,348	23.9%
病院の自助努力にまかせる	735	13.0%
その他	1,632	29.0%



勤務医不足の対策は、「国が医学部の定員数増、前期研修を含め医師の適正配置に責任を持つべきである」を挙げているのが47.2%で最も多かった。国に対策を求める意見が多かった。

Q29 あなたは将来開業を志向しますか。

	回答数(%)
開業しないつもり	2,412 (42.8)
状況によっては開業することも考えている	1,737 (30.8)
わからない	875 (15.5)
開業を志向しているが予定は立っていない	350 (6.2)
近い将来(2年以内)開業する予定	129 (2.3)
小計	5,503 (97.7)
無回答	132 (2.3)
計	5,635 (100.0)



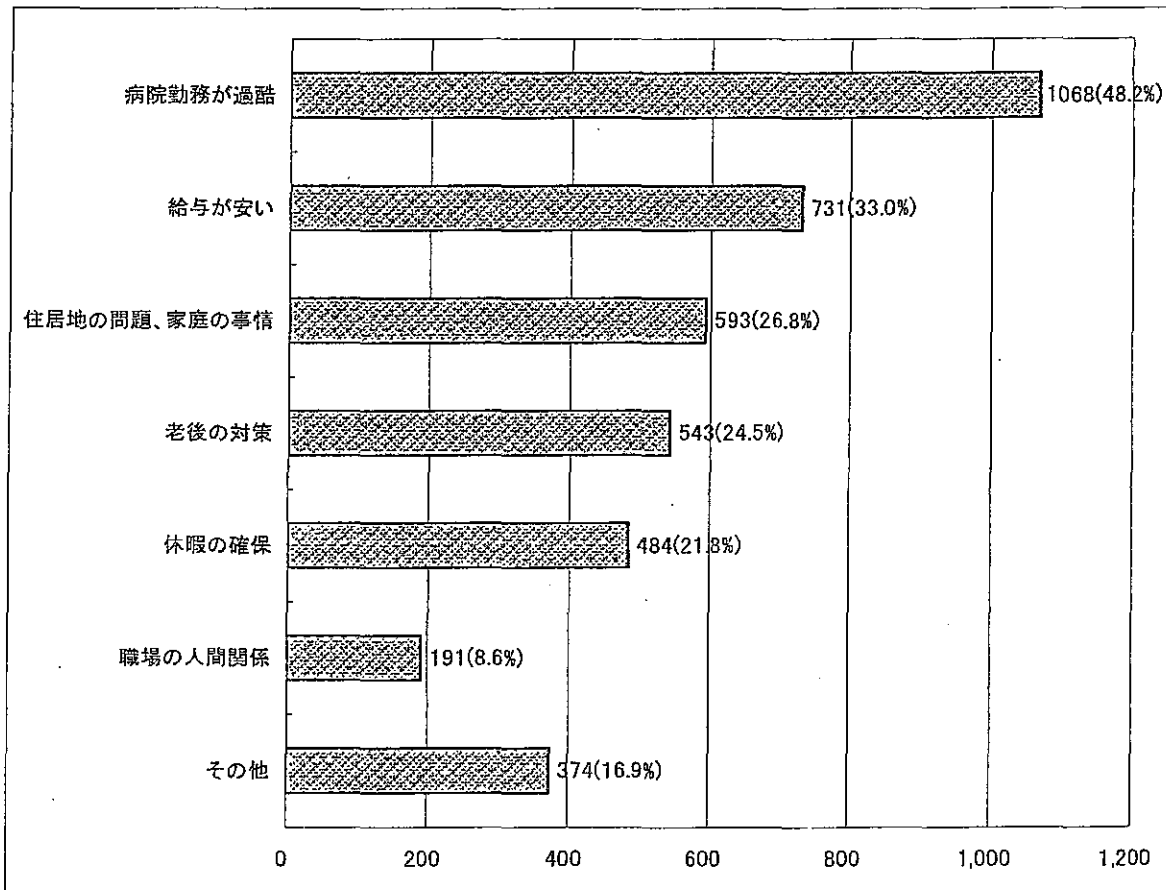
将来の開業志向は、「開業しないつもり」が42.8%と最も多いが、「状況によっては開業することも考えている」が30.8%、「開業を志向しているが予定は立っていない」が6.2%、「近い将来(2年以内)開業する予定」が2.3%、合わせて39.3%であった。

Q30 Q29で「1. 近い将来（2年以内）開業する予定」「2. 開業を志向しているが予定は立っていない」「3. 状況によっては開業することも考えている」と答えた方に伺います。

その理由は何ですか。

n=2216

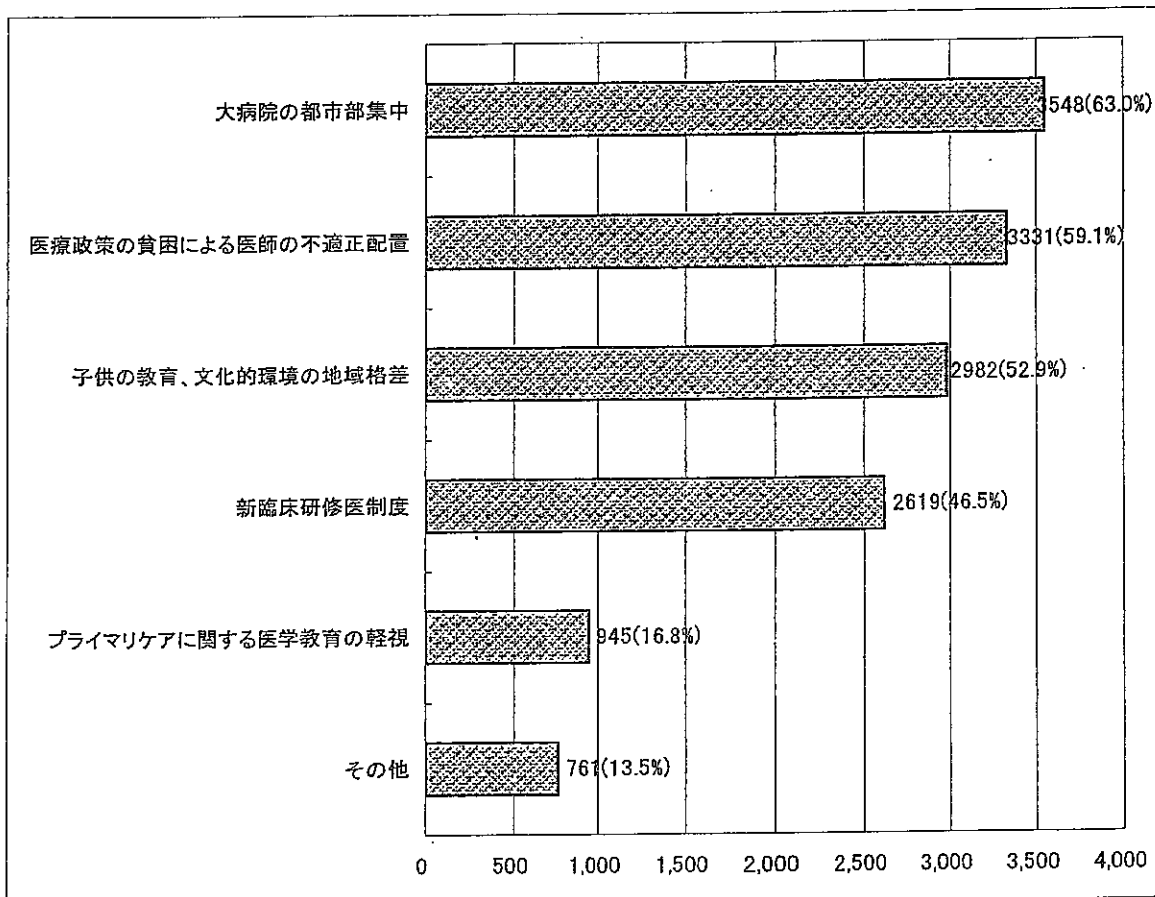
	回答数	回答率
病院勤務が過酷	1,068	48.2%
給与が安い	731	33.0%
住居地の問題、家庭の事情	593	26.8%
老後の対策	543	24.5%
休暇の確保	484	21.8%
職場の人間関係	191	8.6%
その他	374	16.9%



Q. 29で「1. 近い将来（2年以内）開業する予定」「2. 開業を志向しているが予定は立っていない」「3. 状況によっては開業することも考えている」と答えた医師が挙げるその理由は、「病院勤務が過酷」が48.2%と最も多く、次いで「給与が安い」が33.0%、「住居地の問題、家庭の事情」が26.8%であった。ここでも勤務医と開業医との格差が指摘されている。

Q31 勤務医の地域偏在は何故起こったかと思われませんか。
 (特に関係あると思われるもの3項目にレ印を付けてください)

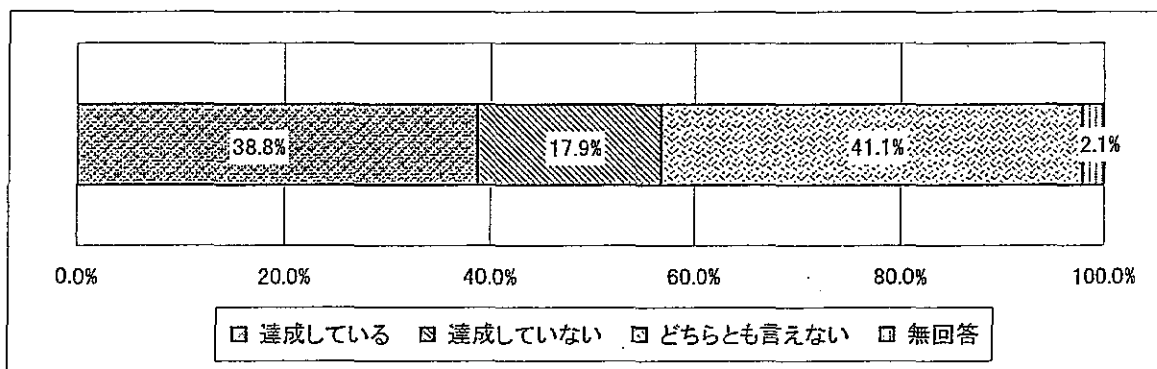
	回答数	回答率
大病院の都市部集中	3,548	63.0%
医療政策の貧困による医師の不適正配置	3,331	59.1%
子供の教育、文化的環境の地域格差	2,982	52.9%
新臨床研修医制度	2,619	46.5%
プライマリケアに関する医学教育の軽視	945	16.8%
その他	761	13.5%



勤務医の地域偏在の要因は、「大病院の都市部集中」を考えているのが63.0%と最も多く、次いで「医療政策の貧困による医師の不適正配置」が59.1%、「子供の教育、文化的環境の地域格差」が52.9%、いずれも過半数を占める。「新臨床研修医制度」は46.5%。

Q32 医師を志望した動機と現在の仕事を比較し、初志が達成されていますか。

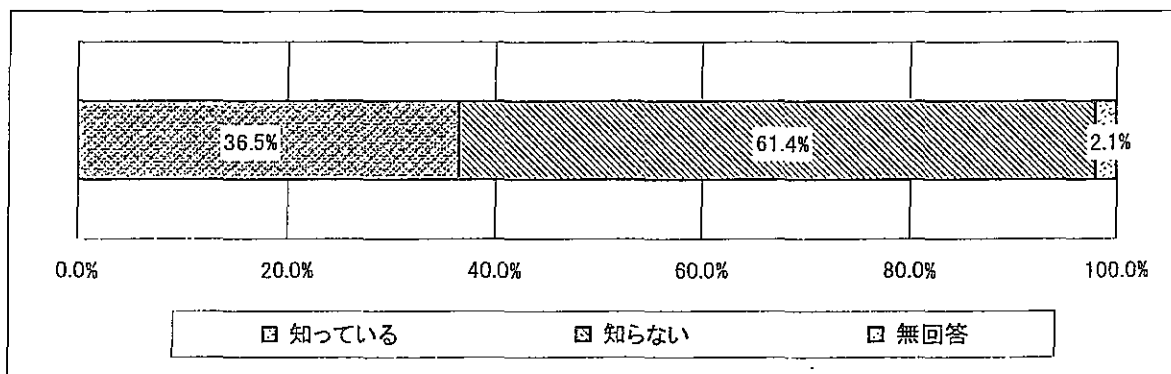
	回答数(%)
達成している	2,185 (38.8)
達成していない	1,011 (17.9)
どちらとも言えない	2,318 (41.1)
小計	5,514 (97.9)
無回答	121 (2.1)
計	5,635 (100.0)



3分の1しか達成感を持ってないでいる。

Q33 日本病院会を知っていますか。

	回答数(%)
知っている	2,058 (36.5)
知らない	3,458 (61.4)
小計	5,516 (97.9)
無回答	119 (2.1)
計	5,635 (100.0)



いままでの日本病院会の会員構成や活動が勤務医対象でないこともありこのような結果なのであろうが、今後は勤務医への広報も必要になるだろう。

理 専 長 様
病 院 長 様

社団法人 日本病院会
会長 山本修三

「勤務医に関する意識調査」及び「医師確保に係る調査」
ご協力のお願について

拝啓 貴院におかれましては益々ご清栄のことと拝察申しあげます。

日頃より、当会の事業には何かとご協力を賜りまして、厚くお礼申しあげます。

さて、医師の需給に関する諸課題のうち診療科における医師の偏在や地域における医師不足が喫緊の課題として指摘され、議論が進められています。

本会としても病院勤務医から開業医へといった医師のシフトが起こっていることや、医師の間に特定の診療科や地域に行くことを避ける傾向が高まっていることなどに重大な関心をもっております。

つきましては、大変お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、下記のとおり勤務医を対象とした「勤務医に関する意識調査」と、管理者を対象とした「医師確保に係る調査」を緊急に実施いたします。

ご協力方よろしくお願い申しあげます。

敬具

記

1. 調査名 「勤務医に関する意識調査」…………… 勤務医（常勤）を対象
「医師確保に係る調査」…………… 管理者を対象
2. 回答期限 平成18年7月28日（金）
3. 回答先 社団法人日本病院会 企画部 一之瀬
〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3
TEL 03-3265-0077
FAX 03-3238-6788、03-3230-2898
E-mail ichinose@hospital.or.jp
4. 注記事項 ①本調査の病院名、個々のデータは公表いたしません。
②「勤務医に関する意識調査」は2部、「医師確保に係る調査」は1部を同封しました。
「勤務医に関する意識調査」の不足分はご面倒でも院内でコピーをお願いします。
できるだけ多くの方のご協力をお願いいたします。
③なるべく施設毎にまとめて回答の送付をお願いしますが、「勤務医に関する意識調査」はFAXなど個別の回答も受付ます。

以上

「勤務医に関する意識調査」

- 注1. 本調査は勤務医（常勤）が対象です。
注2. 該当する箇所にレ印を付けてください。

- Q. 1 性別
 1. 男 2. 女
- Q. 2 満年齢（回答記入日）
 1. 30歳未満 2. 30～39歳 3. 40～49歳
 4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上
- Q. 3 主たる勤務先（アルバイト先を除く）の開設主体は次のどれですか
 1. 大学 2. 国公立 3. 公的 4. 私的 5. その他
- Q. 4 勤務先の種類
 1. 単科病院 2. 併科病院（総合） 3. 併科病院（主に内科系）
 4. 併科病院（主に外科系）
- Q. 5 勤務先の病床数
 1. 20床～99床 2. 100床～199床 3. 200床～299床
 4. 300床～399床 5. 400床～499床 6. 500床～
- Q. 6 開設主体の地域は次のどれですか。
 1. 北海道 2. 青森 3. 岩手 4. 宮城
 5. 秋田 6. 山形 7. 福島 8. 茨城
 9. 栃木 10. 群馬 11. 埼玉 12. 千葉
 13. 東京 14. 神奈川 15. 新潟 16. 富山
 17. 石川 18. 福井 19. 山梨 20. 長野
 21. 岐阜 22. 静岡 23. 愛知 24. 三重
 25. 滋賀 26. 京都 27. 大阪 28. 兵庫
 29. 奈良 30. 和歌山 31. 鳥取 32. 島根
 33. 岡山 34. 広島 35. 山口 36. 徳島
 37. 香川 38. 愛媛 39. 高知 40. 福岡
 41. 佐賀 42. 長崎 43. 熊本 44. 大分
 45. 宮崎 46. 鹿児島 47. 沖縄
- Q. 7 現在の勤務先（アルバイト先を除く）での立場は次のどれですか。
①一般勤務医
 1. 院長、副院長、診療部長クラス 2. 科部長、医長クラス
 3. 医師・医員 4. 研修医 5. その他
- ②大学勤務医
 6. 教授 7. 助教授 8. 講師 9. 助手
 10. 医員 11. 研修医 12. 大学院生
 13. 研究生
- Q. 8 Q. 7の「①一般勤務医」の方にお尋ねします。現在の勤務先での立場は次のどれですか。
 1. 赴任
 2. 大学からの出張（一年以上の予定）
 3. 大学からの出張（一年未満の予定）
 4. その他

Q. 9 「常勤医師」の方にお尋ねします。人事は次のどれですか。
 1. 大学人事 2. 自分の意志 3. その他

Q. 10 Q. 9で「1. 大学人事」と答えた方にお尋ねします。自分の意志が尊重されましたか。
 1. 尊重された 2. ある程度された 3. 全くされない

Q. 11 現在の主たる診療科目又は就業内容は何ですか。
(一つだけお答えください)

- | | | |
|--|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 内科 | <input type="checkbox"/> 2. 総合診療科 | <input type="checkbox"/> 3. 心療内科 |
| <input type="checkbox"/> 4. 精神神経科 | <input type="checkbox"/> 5. 神経内科 | <input type="checkbox"/> 6. 呼吸器科 |
| <input type="checkbox"/> 7. 消化器科(胃腸科) | <input type="checkbox"/> 8. 循環器科 | <input type="checkbox"/> 9. アレルギー科 |
| <input type="checkbox"/> 10. リウマチ科 | <input type="checkbox"/> 11. 小児科 | <input type="checkbox"/> 12. 外科 |
| <input type="checkbox"/> 13. 整形外科 | <input type="checkbox"/> 14. 形成外科 | <input type="checkbox"/> 15. 脳神経外科 |
| <input type="checkbox"/> 16. 呼吸器外科 | <input type="checkbox"/> 17. 心臓血管外科 | <input type="checkbox"/> 18. 小児外科 |
| <input type="checkbox"/> 19. 皮膚科 | <input type="checkbox"/> 20. 泌尿器外科 | <input type="checkbox"/> 21. 性病科 |
| <input type="checkbox"/> 22. 肛門科 | <input type="checkbox"/> 23. 産婦人科 | <input type="checkbox"/> 24. 眼科 |
| <input type="checkbox"/> 25. 耳鼻咽喉科 | <input type="checkbox"/> 26. 気管食道科 | <input type="checkbox"/> 27. リハビリテーション科 |
| <input type="checkbox"/> 28. 放射線科 | <input type="checkbox"/> 29. 麻酔科 | <input type="checkbox"/> 30. 基礎医学科 |
| <input type="checkbox"/> 31. 臨床検査科・臨床病理科 | | |
| <input type="checkbox"/> 32. 行政職 | <input type="checkbox"/> 33. 検診業務 | <input type="checkbox"/> 34. その他 |

Q. 12 勤務先での一週間の勤務時間
(当直を除く常時の状況でお答えください)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 32時間未満 | <input type="checkbox"/> 2. 32～40時間未満 |
| <input type="checkbox"/> 3. 40～44時間未満 | <input type="checkbox"/> 4. 44～48時間未満 |
| <input type="checkbox"/> 5. 48～56時間未満 | <input type="checkbox"/> 6. 56～64時間未満 |
| <input type="checkbox"/> 7. 64時間以上 | |

Q. 13 勤務時間(医師個人)は5年前と較べて変わりましたか。
 1. 減った 2. 増えた 3. 変わらない

Q. 14 Q. 13で「2. 増えた」と答えた方にお尋ねします。
医師の負担が増えた理由は何ですか。
 1. 患者数および診療時間が増えたほど医師が増えていない
 2. 書類を書く時間が増えた
 3. IT化
 4. 会議その他が増えた
 5. その他

Q. 15 Q. 13で「2. 増えた」と答えた方にお尋ねします。
医師の負担を減らすにはどうしたらよいですか。(複数回答可)
 1. 医師を増やす
 2. 医師以外の職員に業務を移す
 3. IT化など組織の効率化を図る
 4. その他〔自由意見〕

.....
.....
.....
.....